
経済理論 I (マクロ経済学)

柳原 光芳

第11回

第7講：貨幣 (第16章)

- 貨幣の果たす役割にはどのようなものがあるか？
- 貨幣はどのような動機から人々によって保有され(得る)か？
- 貨幣の供給はどのように行われているとされているか？

7. 1 貨幣の機能と需要動機(16-1-3)

手段(機能)	動機(目的)	貨幣需要
(1) 交換(支払)---	(a)取引的---	①取引需要
前提:一般受容性(<u>「欲望の二重の一致」</u>)		
(2) 価値尺度	--- 全て	--- 全て
(3) 価値保蔵	--- (b)予備的	--- ②資産需要
	(c)投機的	--- ② //

7. 2(a)取引動機: ①取引需要(16-1-3)

☆数量方程式【ケンブリッジ方程式】

(貨幣数量説を基礎とする)

$M^D \equiv kPY$ (名目)所得に 貨幣(取引)需要が比例

マーシャルのk

☆フィッシャーの交換方程式

$$MV = PT$$

貨幣流通量 (貨幣供給量 × 貨幣の流通速度)

__ = 名目取引量

(一般物価水準 × 実質(もので数えた)取引量)

※これは貨幣市場の「均衡」を表現している。

※交換方程式の両辺に(Y/T)をかけ、(VY/T)の逆数をkとおくと、数量方程式が求められる。

7. 3(c) 投機的 (b) 予備的) 動機 : ② 資産需要 (16 - 1 - 3)

☆ 資産の流動性

① 本来的価値の実現の容易さ

② リスクの小ささ ⇒ 流動性選好説

安全資産と危険資産の選択

例: コンソル債 (永久利付債券) 需要と貨幣需要の選択

仮定 コンソル債は每期 c 円の利息を生む。

P の価格で売買される。

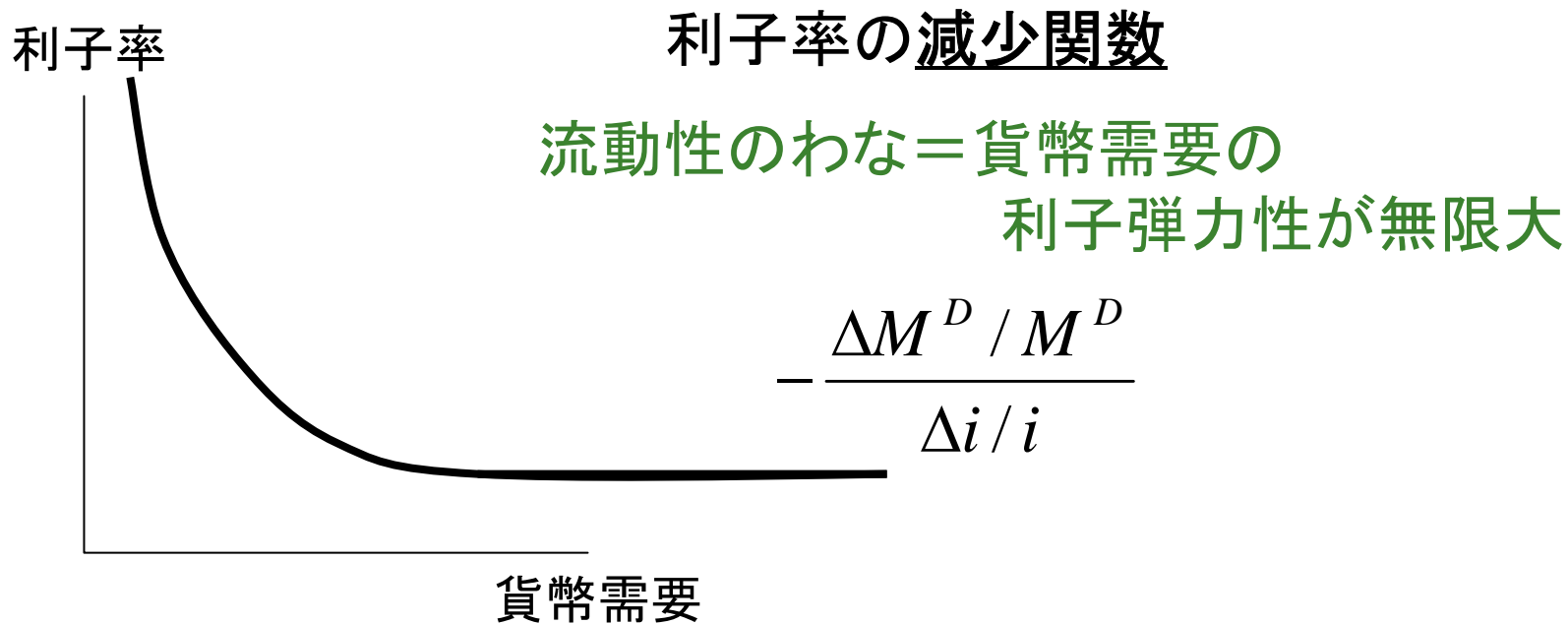
別の (一期満期の) 債券は i の利子率とする。

$$\Rightarrow \underline{P} = \frac{c}{1+i} + \frac{c}{(1+i)^2} + \frac{c}{(1+i)^3} + \underline{\Lambda} = \frac{c}{i}$$

(コンソル債による総配当の現在価値)

7.3 (c) 投機的((b)予備的)動機: ②資産需要

- 利子率の上昇 ⇒ コンソル債価格の低下
- ⇒ コンソル債需要の増大
- ⇒ 貨幣需要(投機的動機)の減少



7.2・7.3をまとめて ⇒ $M^D \equiv L(i, PY)$ 貨幣需要関数

7.4 貨幣の種類(16-1)

				各指標の定義と対象金融商品 (注1)	通貨発行主体
広義流動性	M2 + CD	M1	現金通貨	銀行券+貨幣流通高	日銀 (注2)
			預金通貨	要求払預金 (当座、普通、貯蓄、通知、別段、納税準備) - 対象金融機関保有小切手・手形	国内銀行、在日外銀、信金、信用中央金庫、農中、商中
		準通貨	定期預金、据置貯金、定期積金、非居住者円預金、外貨預金	同上	
		CD	CD (譲渡性預金)	同上	
	M3 + CD	郵便貯金	貯金 (通常、積立、住宅積立、財形定額貯金、定額、定期)、郵便振替	日本郵政公社	
		その他金融機関預貯金	(要求払預金 (当座、普通、貯蓄、通知、別段、納税準備) - 対象金融機関保有小切手・手形)、定期預貯金、定期積金、非居住者円預金、外貨預金、CD (譲渡性預金)	神興組合、全信組連、労働金庫、労金連、農協、信農連、漁協、信漁連	
		金銭信託	金銭信託 (投資信託、年金信託等を除く)	国内銀行の信託勘定	
	金銭信託以外の金銭の信託			金銭信託以外の金銭の信託	同上
	投資信託			公社債投信、株式投信、不動産投信	同上
	金融債			金融債	金融債発行金融機関
	金融機関発行CP			金融機関発行CP	金融機関 (国内銀行、農中、商中、保険会社等)
	債券現先・現金担保付債券貸借			債券現先 (買現先)、現金担保付債券貸借 (債券借入<現金担保放出>)	資金調達主体
	国債・FB			国債 (TB、財投債を含む)、FB	中央政府
外債			非居住者発行債 (円建て、外貨建て)	外債発行機関	

7.4 貨幣の種類(16-1)

				各指標の定義と対象金融商品 (注1)	通貨発行主体	
広 義 流 動 性	M 3 + C D	M 2 + C	M 1	現金通貨	銀紙・硬貨	日銀 (注2)
			M 1	預金通貨	要求払預金 (当座、普通、貯蓄、通知、別段、納税準備) - 対象金融機関保有小切手・手形	国内銀行、在日外銀、信金、信用中央金庫、農中、商中
				準通貨	定期預金、振替貯金、定期積金、非居住者円預金、外貨預金	同上
			D	CD	CD (譲渡性預金)	同上
				郵貯	貯金 (通常、積立、住宅積立、財形定額貯金、定額、定期)、郵便振替	日本郵政公社
				その他金融機関預貯金	(要求払預金 (当座、普通、貯蓄、通知、別段、納税準備) - 対象金融機関保有小切手・手形)、定期預貯金、定期積金、非居住者円預金、外貨預金、CD (譲渡性預金)	神興組合、全信組連、労働金庫、労金連、農協、信農連、漁協、信漁連
				金銭信託	金銭信託 (投資信託、年金信託等を除く)	国内銀行の信託勘定
				金銭信託以外の金銭の信託	金銭信託以外の金銭の信託	同上
				投資信託	公社債投信、株式投信、不動産投信	同上